



新年の挨拶  
千代田区保護司会会长 藤田 義一



明けましておめでとうございます。

一昨年5月にコロナ感染症が5類感染症に引き下げられ、本年度は以前と同様な活動ができるようになりました。保護司会の活動はそれまでの空白期を越えて、地域活動は以前に戻り、社明運動も4か所での駅頭広報、3か所でのミニ集会、そして時期を10月に変えて2か所でのパレードと、以前と同じ活動が出来るようになりました。研修のHybrid化、報告書のH@（はあと）化も順調に進む中、以前との変化も明確に表れてきました。

保護観察活動、地域活動とともに新たな工夫を創造し、これから新しい保護司会活動を千代田区保護司会全員で、PLAN（計画）・DO（実行）・CHECK（評価）・ACTION（改善）のサイクルを回し、誰にでも理解され、応援して頂ける保護司会に出来るよう頑張っていきたいと思います。

本年もよろしくお願いいたします。

## 各部からの報告

### 総務部

総務部長 縣 裕久

- 区長との懇談会  
日時 令和6年12月17日15時  
場所 区役所会議室  
出席者 25名

- 新年懇親会  
日時 令和7年1月31日18時  
場所 東京大神宮マツヤサロン  
出席者 38名

### 研修部

研修部長 小山 千恵

- 宿泊研修  
日時 令和6年11月6日～7日  
内容 水戸刑務所の施設見学等  
出席者 19名  
幹事 万世橋・和泉橋地区
- 第Ⅱ期定期例研修  
テーマ 個人情報保護・情報セキュリティについて  
日時 令和6年11月19日14時  
場所 かがやきプラザ会議室
- 準定期例研修  
テーマ 再犯防止の基礎知識  
日時 令和6年12月17日13時  
場所 区役所会議室
- 特別研修  
テーマ 就労支援について

### 訃報

- 部会開催  
日時 令和6年11月19日17時  
角谷 宏次殿
- 部会開催  
日時 令和7年2月19日18時  
ご冥福をお祈り申し上げます。

### 広報部

広報部長 尾添 章子

- 部会開催  
日時 令和6年11月19日17時  
打合せ
- 11月25日14時  
打合せ
- 12月6日14時  
打合せ
- 12月18日14時  
打合せ
- 1月10日14時  
打合せ
- 1月20日14時  
第一稿確認
- 1月28日14時  
第二稿確認
- 2月5日  
最終稿校正

### 広報部（順不同）

- |                  |       |
|------------------|-------|
| 発行人 千代田区保護司会会长   | 藤田 義一 |
| 編集人 千代田区保護司会広報部  |       |
| 連絡先 千代田区九段南一ノ二ノ一 |       |
| 千代田区役所福祉総務課厚生係   |       |
| 年2回・1400部発行      |       |
- 副部長 土島 豊裕 堤 美代子  
井上 優美子 影山 純子 熊倉 章洋  
瀬谷 達郎 堀田 健二 安田 郁子

### 編集後記

- 第Ⅲ期定期例研修  
テーマ 被害者等の思いに応える保護観察について  
日時 令和7年2月19日14時  
場所 審査会議室  
察処遇について
- 新人研修（予定）  
日時 令和7年3月19日15時半  
場所 かがやきプラザ会議室

令和3年度より広報部の担当となり4年が経ちました。当時はまだコロナ禍であり、最初に担当した広報誌88号は4ページでした。その次の89号は6ページとなり、90号からはコロナ禍以前と同じ8ページになりました。

90号作成の頃には、保護司会の行事も徐々にコロナ禍以前に近くなり、今回の95号では5年振りに宿泊研修の原稿を掲載することができました。

保護司会活動もコロナによる行動規制が無くなり、コロナ禍以前と同様の、或いはそれ以上の活動を行なった一年となりました。

今後も保護司会の一人として、保護観察をはじめ防犯活動・部会活動等、もう少しの間ですが、頑張っていこうと思つております。本年もよろしくお願ひ致します。

（尾添）

保護司会活動もコロナによる行動規制が無くなり、コロナ禍以前と同様の、或いはそれ以上の活動を行なった一年となりました。

今後も保護司会の一人として、保護観察をはじめ防犯活動・部会活動等、もう少しの間ですが、頑張っていこうと思つております。本年もよろしくお願ひ致します。



もつた発表となり、現状を改善していくべきだ  
いという各地区の強い思いが感じられまし  
た。運動への知名度の低さが共通の課題で  
あり、大型デジタル掲示板を利用した広報  
活動や、地域や学校への丁寧な趣旨説明が  
対策として取り上げられていました。広報  
活動に関する具体的な質問が多く、他地区  
の回答から多くを学ばせていただきました。

来賓の方々のご挨拶の後、地区順に意見書の発表および質問への回答が行われました。いずれの地区も所定の発表時間をオーバーするほど熱のこ

第一ブロツク保護司

ノウ 保叢司

今年度の協議題は、保護司会でも力を入れて継続・推進している「『社会を明るくする運動』について考える」でした。当会では協議員と事務局で全5回の打ち合わせを行い、意見書と質疑応答の内容をまとめ

場所　如水会館

数問の質問がありましたが、中でもSDGsの概念を実現すべく、「ZERO WASTE」を目指し



## 区長と保護司会との懇談会

## 区長と保護司会との懇談会

また東京保護観察所より都内各地区の社明活動内容の一覧を資料として配付いただ  
き、大変参考になりました。杉山所長からの講評も含め、来年度の社明運動に活かしていきたいと思います。

千代田区が当番区でしたので、事務局に様々な対応をいただき、感謝申し上げます。

■ 区長と保護司会との懇談会

開催日 令和6年12月17日

場所 千代田区役所会議室

講師 保野 幸昭

A group photograph of approximately 25 people, mostly elderly, posing for a group photo indoors. They are arranged in three rows: a back row standing, a middle row seated on chairs, and a front row seated on a long bench. The setting appears to be a conference room or meeting space.

て区内のゴミ問題に関する質疑を重点的にご報告致します。区長は現場主義を実践され、年に一度ゴミ収集車に同乗されて、区内のゴミの状況を実体験されています。区内のゴミ問題解決のために数々の施策を行つております、「決して諦めない」を信条に区民の規範意識の向上を目指して日夜活動をされております。

今般、その一端をお聞きする事ができ、心を新たにゴミ問題に関心を持つ意味を確認できました。

宿泊研修

今回5年ぶりの宿泊研修ということで、施設は水戸刑務所、宿泊場所は水戸駅の近くとしました。

前初見を見学し、那珂湊で、刺身定食の昼食後、水戸刑務所へ伺いました。



### ・水戸刑務所にて

■ 準定例研修

現役の保護司で東京都の犯罪お悩み相談員も兼ねておられる小林良子氏を講師にお迎えし、研修を行いました。



AXA筑波宇宙センターにて

近年の刑法犯罪認知件数はピーク時の約5分の1に減少しているにもかかわらず、再犯者率は約35%から約48%へ上昇しています。これにより再犯者を減少させることは重要な課題であることが分かります。

刑事案件を起こした人（年間約80万人）はどこかの時点で社会、地域に戻ってきます。その時、立ち直りを決意した人を受け入れ、家族・行政・地域の方が適切な支援を行うことは、「安心安全なまちづくり」にも繋がります。

過去に放火事件を起こし逮捕された高齢者が「寒くて空腹で刑務所に戻りたかった」と発言したとの実話もあります。本当に困った時に人には言いづらい「助けて」といえる社会、孤立させず寄り添う姿勢が大切です。

このため、東京都では「再犯防止推進計画」を策定し「犯罪お悩みなんでも相談事務局」も開設され、様々な支援、相談に対応しています。本人、関係者の方々にも活用していただき、少しでも犯罪の減少に繋がることを願っています。



### ■新任の挨拶

松川 京子



ケースが増えていたことでした。落ち着いていればわかるような嘘も「あなたは被疑者です」と言われ、動搖したところに付け込む詐欺です。

また、警視庁のアプリ「デジポリス」の紹介をいただきました。犯罪の発生状況を見ることがで、よろしければダウンロードしてみてください。

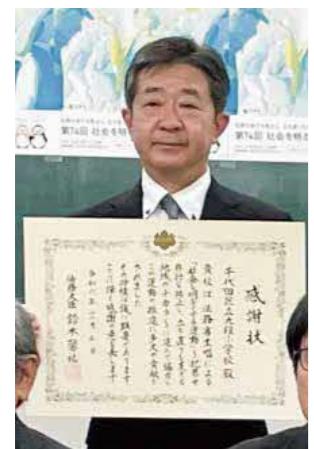
大きな問題になつていてる2つの犯罪について、詳しくお話を聞いていただき大変りました。

責任の重要性と、その責任の重さを感じています。地域社会の一員として、また、一人の人間として、真摯にこの役割に取り組んで参る所存です。ご活躍されています。

この度、新たに保護司として任命され、千代田区に配属されました。松川京子でござります。私がこの役職に就くにあたり、保護司の協力を要請申し上げます。

保護司としての活動や役割について、諸先輩方をはじめ、地域の皆様はじめ多くの方々と交流を深めることができました。この縁を大切にし、微力ながらも地域のために活動させていただければと存じます。

保護司としての活動や役割について、諸先輩方をはじめ、地域の皆様はじめ多くの方々と交流を深めることができました。この縁を大切にし、微力ながらも地域のために活動させていただければと存じます。



難波 明夫 校長

### ○法務大臣感謝状 千代田区立九段小学校

社会を明るくする運動著な団体に対し感謝状が贈呈されました。

### ■第74回 “社会を明るくする運動”における民間協力者感謝状受賞

### ○法務大臣感謝状 千代田区立九段小学校

東京保護観察所長感謝状（家族功労）

影山 ます枝 氏

東京都保護司会連合会会長表彰

神谷 英亮 氏

関東地方更生保護委員会委員長表彰

高柳 葉子 氏

東京保護観察所長表彰

熊倉 章洋 氏

西村 京子 氏

法務大臣表彰

堀田 健二 氏

春の叙勲 瑞宝双光章

小笠原 正 氏

### ■令和6年度東京更生保護事業関係者顕彰式典

### ■麹町警察署との懇談会

植田 浩敏

開催日 令和6年11月29日  
場所 鬼町警察署



昨年同様、民生児童委員協議会の赤城副会長にもご参加いただき、藤田会長を含め保護司会から7名、麹町警察署からは鎌田生活安全課長はじめ3名が参加して開催されました。残念ながら小林署長は、臨時国会の対応のため急遽欠席となりました。まず、藤田会長より社明パレードの警備協力に対してもお礼を申し上げ、次回も同様の協力を要請申し上げました。

次に鎌田課長より、総理の所信表明演説でも取り上げられた闇バイトの警察庁の資料を使つた説明と、管内の状況についてご説明いただきました。

最後に、赤城副会長より普段行つている学校との話し合いだけでなく、違う見解も聞くことができ貴重な時間でしたとお話し下さいました。

伊藤校長と各校生活指導主任より不登校・いじめの状況について説明がありました。不登校への対応として児童・生徒を「スペシャルサポートチーム」で受け入れ、いじめの対策としては「人権」に対する感覚を大切にする指導をしており、効果が上がつていい結果が未だ未熟な点も多々ございますが、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今年も万世橋警察署と保護司会の懇談会が、万世橋警察署から鶴飼署長、正木生活安全課長、そして少年係から2名、保護司会から藤田会長以下13名で開かれました。初めに藤田会長、鶴飼署長からご挨拶を頂き、その中で鶴飼署長から、最近大きく問題になつてゐる「闇バイト」のお話をしました。

闇バイトは社会経験の少ない青少年などを捨て駒のように使う悪質な犯罪である。青少年たちに闇バイトの恐ろしさを強く啓発していかなければならぬ。もし巻き込まれてしまつたらすぐに警察に助けを求めてほしいとの事でした。

引き続き保護司会活動状況、万世橋警察署管内的情勢についての懇談がありました。正木課長からは「特殊詐欺」のお話をしていただきました。最近では、地方の警察署員を名乗り、「あなたは被疑者になつてはいけない」と嘘の話をして、金錢を振り込ませる

### ■神田警察署との懇談会

土島 豊裕

開催日 令和6年11月22日  
場所 神田警察署



青少年の非行防止や安全・安心な地域の実現に向け、神田警察小川署長、生活安全課少年係担当者、お茶の水小学校伊藤校長、神田一橋中学校・千代田小学校各校生活指導主任の出席をいただき、神保町・神田公園地区保護司との連絡協議会が開催されました。

伊藤校長と各校生活指導主任より不登校・いじめの状況について説明がありました。不登校への対応として児童・生徒を「スペシャルサポートチーム」で受け入れ、いじめの対策としては「人権」に対する感覚を大切にする指導をしており、効果が上がつていい結果が未だ未熟な点も多々ございますが、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本年も万世橋警察署と保護司会の懇談会が、万世橋警察署から鶴飼署長、正木生活安全課長、そして少年係から2名、保護司会から藤田会長以下13名で開かれました。初めに藤田会長、鶴飼署長からご挨拶を頂き、その中で鶴飼署長から、最近大きく問題になつてゐる「闇バイト」のお話をしました。

闇バイトは社会経験の少ない青少年などを捨て駒のように使う悪質な犯罪である。青少年たちに闇バイトの恐ろしさを強く啓発していかなければならぬ。もし巻き込まれてしまつたらすぐに警察に助けを求めてほしいとの事でした。

引き続き保護司会活動状況、万世橋警察署管内的情勢についての懇談がありました。正木課長からは「特殊詐欺」のお話をしていただきました。最近では、地方の警察署員を名乗り、「あなたは被疑者になつてはいけない」と嘘の話をして、金錢を振り込ませる

明パレード・ミニ集会の御礼を申し上げ、各保護司より保護観察の状況と日頃の活動報告をし、その後意見交換をしました。

さらなる地域の連携と情報共有が不可欠であると確認出来ました。